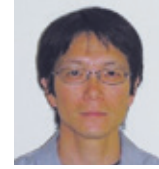


令和元年度 社会資本整備総合交付金（道路）工事 【笠倉壁田橋】

*1 千葉工場生産計画部部长代理

高橋 秀幸*1
Hideyuki TAKAHASHI

1. 工事概要

本整備工事は、長野県内の高速交通網へのアクセス向上により、産業や地域連携を強化する社会基盤整備として一般県道豊田中野線 中野市笠倉～壁田に計画された路線である。その整備工事の主格となる笠倉壁田橋（仮称）は、長野県中野市に位置し、一級河川千曲川を渡河する橋梁であり、本工事はそのうち中路式アーチ橋（中路式ローゼ桁）の製作・運搬・架設工事を宮地・角藤特定建設工事共同企業体で施工する工事である。製作区分としては、宮地エンジニアリングがアーチ部、角藤が補剛桁部に分け、各製作工場（宮地：千葉工場、角藤：橋梁高山工場）で工場製作を実施する。

2. 特徴

橋長は265.000mであり、その内A1～P3が鋼3径間連続非合成鋼桁橋・橋長106.000m、P3～A2が中路式アーチ橋（本工事）・橋長159.000mである（図-1）。縦断勾配が最大3.002%、アーチ部支点の高低差が7.75mと大きいことからアーチ部が非対称となりアーチ部材の下部は橋梁用高降伏点鋼板SBHS500材（最大板厚58mm）を採用している。



図-1 笠倉壁田橋イメージ図（色彩：青系）

3. 進捗状況

令和3年9月時点で宮地エンジニアリング製作範囲のアーチ部工場製作が完了している。アーチ部の仮組立は下部と上部で分割仮組立を実施しており（図-2～3）、補剛桁部においては今後、角藤にて一括仮組立を実施する予定である。現地架設はケーブルクレーン架設を計画しており着々と準備を進めている。現場見学会なども行う予定のため是非、現地へお越し頂けたら幸いである。



図-2 第1回仮組立（アーチ下部）



図-3 第2回仮組立（アーチ上部）

本工事のホームページを開設し、工場製作からの進捗状況を掲示しているため、是非参照ください。

<http://genba-s.net/r1-shakaishihon-doro/>



2022 受付